

2020年12月15日
芙蓉総合リース株式会社
株式会社日本政策投資銀行

芙蓉総合リース（株）に対し、 DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの実行 - リース業界で初、環境・社会両面からの指標設定 -

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：辻田泰徳、以下「FGL」という。）に対し、DBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローン（以下「本ローン」という。）を実行しました。

本ローンは、Loan Market Association 等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則（SLLP）」および環境省が策定した「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）」に基づき、貸付人である DBJ が対話を通じて借入人である FGL のサステナビリティ経営高度化に資する適切なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）設定を支援するとともに、貸付期間中の両社の定期的な対話により SPTs の達成に向けた伴走を行う融資メニューです。

FGL は、コーポレートスローガン「前例のない場所へ。」や企業理念である「リース事業を通じて企業活動をサポートし、社会の発展に貢献する。」に基づき、社会課題の解決を通じて企業の持続的な成長を実現する CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）の概念を重視し、社会的価値と経済的価値との両立を図る CSV 経営を実践しています。

本ローンでは、FGL の中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、社会的課題の解決を通じて企業収益を確保し持続的な成長を目指す「戦略分野」に位置付けられた事業領域に関する、以下の2つの SPTs (Sustainability Performance Targets) を設定しました。なお、環境に加え、社会面で目標を設定するのは本件が国内初の事例となります。

- (1) 【社会面】生産年齢人口の減少等が進む中、企業経営の効率化や生産性向上、業務継続性の確保・強化等に貢献する、BPO（Business Process Outsourcing）サービス提供の進捗に係る定量目標
- (2) 【環境面】顧客の再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の導入を促す「芙蓉 再エネ 100 宣言・サポートプログラム」および「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」取扱の進捗に係る定量目標

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を

現します～」に基づき、サステナビリティ経営の実現に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

※ 本ローンのSLLP及び環境省ガイドラインに基づくフレームワークの適切性およびサステナビリティ戦略とSPTsの整合性について、詳細は以下のリンクを参照ください。

【対話報告書（公表版）へのリンク】 ～DBJのリンク～

【お問い合わせ先】

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室
(担当) 木村・渡邊 電話番号 03-5275-8891
株式会社日本政策投資銀行 企業金融第3部 電話番号 03-3244-1990